

知ろう！ 見よう！ 体験しよう！

KAiGOのおしごとひろば

山形県福祉人材センターニュースレター 2022年秋号



中学生、高校生のみなさん 少しだけ、KAiGOの世界を のぞいてみませんか？

日時 令和4年10月1日（土） 午前11時～午後3時
会場 霞城セントラル 1階 アトリウム

山形市内の中学生、高校生を対象に、介護職の体験イベント「KAiGOのおしごとひろば」が開催されました。

霞城セントラル1階アトリウムを会場に、介護体験、現役介護職員ポートレート展示、介護職養成学校紹介、職業相談ブースなど、各種コーナーが設けられました。

車いすの移動や歩行介助が体験できるコーナーでは、介助する・されるの両面で、介護職への理解を深めようとする狙いを感じました。また、学校紹介ブースには、進学相談に訪れた家族連れを見かけるなど、一般の方々と「介護」との接点を大事にしたイベントとなりました。

共催：山形市

山形市特定施設連絡協議会

山形市内特別養護老人ホーム施設長
連絡会

一般社団法人KAiGO PRIDE

山形県社会福祉協議会 山形県福祉人
材センター

学校紹介：

東北文教大学短期大学部

大原簿記情報ビジネス医療福祉専門学校

山形県立山辺高等学校

次なる担い手との出会いに期待

本日の来場者数は、約250名。急ぎ足で通り過ぎる人も含まれますが、その多くがふと立ち止まったり、興味の眼差しを注いだり、一般の方々にも、何らかの刺激をあたえるイベントだったのではないのでしょうか。

中・高校生をターゲットにしたイベントの開催ははじめてのことでしたが、会場でカウントされた中・高校生は60を超え、一定の数字を記録しました。実際に体験コーナーに参加したのは、31名でしたが、その様子を2階、3階から見学する学生グループも多く、“地の利”を活かした、今後に期待がもてる成果を上げていました。



「歩行介助」の体験コーナーでは、「高齢期疑似体験システム」を利用して“片マヒ”をシミュレーション。

各種のシミュレータを装着した体験者は、歩行の難しさに苦笑いの連続でした。

体の動きに関する装着器具のほか、視覚や聴覚のシミュレータもあり、その種類の多さにも驚かされました。

技術的な一面ではありますが、こういった「介護の進化進歩」を体験する機会を提供することに加えて、魅力的な「情報」として発信する効果にも期待がもてます。

子ども達に介護を体験する機会を提供する。これもまた、社会の大切な役割だと考えさせられました。

